

武蔵野の森を育てる会・会報

—第2号—

平成 21 (2009) 年 5 月
武蔵野の森を育てる会

私たちの会は、武蔵野市公認の緑ボランティア団体です。武蔵野市緑化環境センターとの協働によって、市立「^{さかいさんやりのくち}境山野緑地」に豊かな生態系の雑木林（森）を育てるために保全活動を行っています。

作業の内容

- ・ 生物多様性のための作業 既存の雑木林部分は、適宜下刈（アズマネザサ等）や外来種の除去（シュロ等）などを行い、自然環境を適切に維持しています。
- ・ 植樹や実生を育てる作業 これから雑木林をつくる部分は、雑木林固有の落葉樹の植樹と実生の育成によって、雑木林空間を広げています。
- ・ 苗木の管理 圃場（苗床）をつくって、緑地内のドングリから苗木を育て、雑木林の再生や拡張に備えています。



講師から植付けを習っている様子



笹刈で大活躍の亜細亜大の学生たち

仲間とともに

- ・ 地域の方々の参加 冬にはご近所に呼びかけて大規模な下刈作業を実施。その後のつながりもできました。
- ・ 亜細亜大の学生の活躍 学内二つのボランティアサークルから、毎回 10 人程度が参加。若い力に感謝です。
- ・ 市立第二小学校と連携 小学生も圃場の世話、雑木林の観察、下刈体験などを通して、一緒に森を育てています。
- ・ その他 日本獣医生命科学大学の授業、武蔵野市主催の椎茸こま打ち行事、市民参加の雑木林見学会など、多様な活動にかかわっています。

作業に参加した方々の感想より

いつもありがとうございます。今こそ自然を守らなければという気持ちになりました。（地域の方）
／とても気持ちよく参加できました。地域活動に参加する良い機会を下さってありがとうございました。（地域の方）
／近所の方々が境山野緑地を守ろうとする気持ちは、とてもステキだなと思います。（学生）
／森を大切にできる体験ができました。早く、元の自然の姿に戻したいですね！（学生）

通りがかりの人の感想より（記帳台のノート）

虫や鳥が鳴いていて、とても気持ちよかったです。
／子供と散歩にきました。静かで心がやすらぎます。ドングリごま、子供よろこびました！
／近くにこんなすてきな公園があることを知りませんでした。散歩するには最高です。
／私とおじさんと散歩にきました。しぜんの公園はとてすばらしかったです。
／うろろろしていたら着いたのでおどろきました。森だいすき。これからも活動がんばって下さい。

ぜひ一緒に作業しましょう！

森を育てようという気持ちのある方、ぜひ一緒に作業をしましょう。お待ちしています。予定表は境山野緑地内の掲示板に表示します。あるいは上記の田中までお問合せを。（寄付も常時受け付けています。緑地保全のための調査、学習、地域・他団体との連携などに活用させていただきます。よろしく願いいたします。）

さかいさん やりよくち 境山野緑地とは？

平成 17 (2005) 年 4 月、武蔵野市立の緑地として開園しました。明治の文豪・国木田独歩との係わり合いがあることから、地元では「独歩の森」とも呼ばれています。武蔵野市においては、「市内に残る本来の雑木林としては唯一の存在」です。こうしたことから、『武蔵野市緑の基本計画 2008』では、境山野緑地の保全を重点施策に位置づけ、「林の自然を再生させるため」に、「適度な伐採を含めた更新整備」を進めるとしています。(「 」内は同計画からの引用)



東京都武蔵野市境 4-5

(JR 中央線武蔵境駅北口より徒歩 10 分)



境山野緑地南側部分の雑木林

豊かな生態系の雑木林を育てるため、次のような活動にも力を入れています

雑木林の保全活動の見学

従来、雑木林(里山)は、生活燃料の採取のために定期的に伐採するなど、人の手が入ることによって豊かな自然が維持されてきました。一方、今日のように雑木林を放置すると、生物多様性が低下してしまうことが知られています。そこで、林の自然を再生させるための手入れ方法が各地で模索されています。それらの試みに学ぼうと、武蔵野の森を育てる会では他地域(国分寺市、西東京市、日野市、所沢市他)の雑木林の見学を行っています。その一つである、都立小宮公園(八王子市)では、古くなった雑木林の若返りに成功しています(写真参照)。



都立小宮公園

植物の調査

植物相調査というやり方で、緑地全体にどのような植物が生育しているのかを記録しています。これにより、境山野緑地の価値や特徴を理解するとともに、植物に配慮した適切な保全・管理に活用しています。また、これから雑木林をつくらうとする区域に 10m 四方の固定調査区を設け植生や樹木の調査を継続的に行っています。これにより、木の成長や枯死、雑木林の発達に伴う植物種の入替わりなどを把握し、管理方針に役立てることができます。



腐葉土の切り返し

産物の活用

緑地内の産物を適切に活用することも心がけています。例えば、落ち葉を燃やすのではなく堆肥(腐葉土)にする、剪定したコナラの枝で椎茸を栽培するなどです。収穫の楽しみも味わいながら、活用法の工夫を続けています。

地域・社会への発信

ホームページ (<http://mnomori.org/default.aspx>)、会報紙、掲示板、記帳台で、緑地の自然、会の概要や活動の報告・予定を発信しています。また、平成 20 年度は、亜細亜大学現代教養特講(武蔵野市寄付講座)で講演し、武蔵野市の市民協働サロン「サロンカフェ」や環境フェスタでは市民の皆さまに活動の様子を知っていただきました。